

これまで実施してきた施策の経過

循環バス「ガウラ号」

運行概要

運行期間：平成 15 年 10 月～平成 22 年 9 月
 運行方法：定時路線型巡回方式
 運行ルート：3 コース(上泉・谷中方面、川原井・林方面、中川富岡方面)
 事業形態：バス事業者に運行委託
 運賃：100 円/回

利用状況

運行日数：308 日/年
 利用者数：約 3,800 人/年 1 日あたり 12 人/日
 収支状況：運賃収入 約 370,000 円/年
 運行経費 約 11,900,000 円/年
市支援額 約 11,530,000 円/年

運行の課題・廃止の理由

- 利用者ニーズ・事業採算性の問題
- ・ 1 便当りの利用者は 2 名程度
 - ・ 運行に係る年間支援額が約 1,153 万円
 - ・ 利用者 1 人あたりの運行コストは約 3,100 円
- 目的地の設定
- ・ 公共施設中心の設定(商店や病院の設定なし)
- 運行方法・仕組みの問題
- ・ 定時定路線型方式により、利用者がいなくても運行
 - ・ 固定ルートのため目的地まで時間を要する
 - ・ 停留所まで行ける方しか利用できない



デマンド型乗合タクシー「平川おでかけタクシー」

運行概要

運行期間：平成 22 年 10 月～平成 25 年 3 月
 運行方法：デマンド型システム(区域運行型)
 運行区域：平岡地区、中川富岡地区
 事業形態：タクシー事業者との運行協定に基づく
 運賃：平川地区内線 300 円/回
 袖ヶ浦・長浦線 500 円/回
 ただし、障害者及びその介助者、幼児は無料

利用状況

運行日数：296 日/年
 利用者数：約 1,600 人/年 1 日あたり 5 人/日
 収支状況：運賃収入 約 390,000 円/年
 運行経費 約 8,100,000 円/年
市支援額 約 7,710,000 円/年

運行の課題・廃止の理由

- 利用者ニーズ・事業採算性の問題
- ・ 1 便あたりの利用者は 1 名程度
 - ・ 運行期間中の実利用者数は 105 名
 - ・ 運行に係る年間支援額が約 771 万円
 - ・ 利用者 1 人あたりの運行コストは約 5,000 円
- 運行方法・仕組みの問題
- ・ 乗車のための事前予約が面倒
 - ・ 病院などで診察が延びた場合、予約便に乗れない
 - ・ 狭いタクシー空間に他人と乗合うことへの抵抗感
- 地域が持つ地縁関係や地域内のつながり
 高齢化率が高い地域であるものの、地域特有の地縁関係や地域内のつながりにより需要が少ない



これまでの運行成果を活かした、地域に根ざした仕組みづくり

これまでの取り組みから見えてきたこと

市(行政)が画一的に行う施策では交通空白地域の課題を解決することは難しい
 市(行政)が行う施策では、多種多様なニーズに対応していくことは、不可能である

これを解決するために

みんなで創り、守り、育てる公共交通の実現

地域に根ざした仕組みとするためには、地域住民のニーズに合った交通サービスを適切に提供し、持続させていくことが重要であり、その持続に向けて、住民と自治体と事業者が協働しつつ、社会全体で支えていく必要があります

今後、進める施策方針について

- 1 目的
 地域が真に必要とする公共交通の実現に向け、市民と事業者、そして市が協働してその地域に適し、また継続していけるような仕組みの導入を目指す。
- 2 進め方
 地域の実情に合った、移動手段を確保するための仕組みを、地域で考えていただき、利用者をはじめ地域の皆さんで運営を支えていただく。市は可能な範囲で支援を行います。(別紙参照)
- 3 市が行う支援
 - ・ 仕組みの立上げ支援
 - ・ 運行に対して、予算の範囲内において補助を行う
 - ・ 運営上の課題解決や効果的な運営方法に関する助言
 - ・ 事業者や関係行政機関との調整

